

## 南オーストラリア州における看護視察報告

二宮一枝\* 名越恵美\*

**要旨** 南オーストラリア州の看護師教育は大学（3年間）で、准看護師はTAFE（18ヶ月）で行われている。免許は毎年20時間の継続学修をうけて更新する。

看護師は侵襲性の高い処置を行い、開業助産師は薬剤の処方権を有し、高度実践看護師（専門看護師CNSとナースプラクティショナー）も活躍している。保健師免許はないが、コミュニティではCNSが、州政府の看護行政担当にはコミュニティや看護管理経験等が必要である。小学校では教職員が州のマニュアルに基づき、輪番でファーストエイドを行っている。

州政府は“Nursing and Midwifery Strategic Framework 2013-2015”に基づき、看護の質向上に努めている。アデレード大学の看護基礎教育はロイヤルアデレード病院等と連携してNursing and Midwifery Board of Australiaの規定に基づくカリキュラムに沿って行われている。

**キーワード**：南オーストラリア州、看護、アデレード大学、カリキュラム

### はじめに

平成26年度の国際交流推進助成を受け、2014年8月31日～9月6日に南オーストラリア州（SA）政府およびアデレード大学、ロイヤルアデレード病院、TAFE（City Campus/ Port Adelaide Campus）、Repatriation General Hospital、高齢者施設（Aged Care & Housing（ACH）Group、The Society of Saint Hilarion）、小学校・高等学校等を視察する機会を得たので、SAにおける看護の現状について報告する。

### 1. オーストラリア連邦の看護制度

オーストラリア連邦（AU）の医療制度は、イギリスの影響を受けており、税金を財源とする国民皆保険制度 Medicare を基本としている。連邦政府はメディケア給付、州政府は公費病院の管理運営を行っている。病院のうち公費病院は6～7割を占め、保健サービス地区（Area Health Services）が市民の健康に責任をもつ仕組みとなっており、「中福祉・中負担」と位置づけられている<sup>1)</sup>。

看護教育についても、イギリス方式の看護師養成が行われていたが、看護師不足や英米での看護師認

定資格取得困難等を背景に、1976年に看護師職能団体は、看護教育の最低基準が大学教育（AUの学士課程修了年数は、特別な資格を除き3年）である声明を発表した。この声明を受けて看護師養成教育の所管が厚生省から文部省へ移行し、1984年には、高等教育への移行を決定し、1993年から看護師の教育はすべて大学で行われるようになった。この背景には、政府の抜本的な高齢者介護策等の施策転換の影響があるとされている<sup>2)</sup>。

#### 1) 免許登録制度

AUは、2010年7月1日より、保健医療関係職の規制制度を国内統一とし、看護師についても、各州・準州ごとの登録から国内で統一の登録（西オーストラリア州を除く）となった。ANMC（Australian Nursing and Midwifery Accreditation Council）に認可された大学において、看護学教育課程を履修し、全科目の審査を合格することが必要である。さらにANMCが定める「登録看護師のための全国共通適性基準」に従って、実習病棟で全ての項目で基準をみたせば各州のNMBA（Nursing and Midwifery Board of Australia）に免許を申請

\*岡山県立大学保健福祉学部看護学科

〒719-1197 岡山県総社市窪木111

できる<sup>3)</sup>。しかし、毎年、免許登録に20時間の継続学修が義務付けられている<sup>4)</sup>。臨床のブランクが5年以上ある場合は新規登録になり、リフレッシュコースの履修が要求される。看護師の給与は州毎に統一され、経験年数1～8年はどの病院で勤務しても同じで、それ以降の昇給はない。昇給のためには継続教育を受け、専門性を高め、資格の取得が条件となる。継続教育のための特別休暇制度 Study leave があり、4～6週間の有給休暇を取得できると同時に、通信教育システムやパートタイムコース、週末コースなど多様なコースがある<sup>3)</sup>。

## 2) 看護基礎教育

先述のように、看護師 Registered Nurse (RN) はすべて大学教育になったが、准看護師 Enrolled Nurse (EN) は、Technical and Further Education (TAFE) で18ヶ月のコースがある。TAFEの入学基準はDiploma (高校3年卒業以上) で英語力はIELTS (アイエルツ) 7以上かまたはOET (Occupational English Test) 判定AまたはBが必須となる。また、大学への編入学 Conversion Course もある。しかしながら、新卒の看護師は病院実習期間が短いため、卒業後1年間の新卒看護師教育プログラムを終了しないと就職が難しいと言われている<sup>3)</sup>。

多くの移民を含む多民族のAUでは、共通言語としての英語力は必須である。看護・介護従事者の約25%が外国出身者で占めており、多様な文化的言語的課題が指摘されている<sup>5)</sup>。今回、視察したカトリックの認知症施設 (56床 軽度ケア) はイタリア南部移住者が多く、玄関にはAUと並びイタリアの国旗が掲揚され、売店にはイタリア料理があった。高齢化に伴い、自国の文化・言語等の施設が必要となり、特に認知症になれば英語がよくできていた者も母国語に戻り、意思疎通が困難となる。このため、施設従事者の労災の約半数は言語に起因する暴力であるとの説明があった。今後、わが国もグローバル化と同時に、EPA経済連携協定等による外国人看護職等の増加が予測されるため、同僚間とのコミュニケーションも含めた、異文化理解と多言語社会への準備が必要となってくると思われる。

## 3) 看護の役割拡大

AUは広大な面積に加え砂漠等の地理的要因と

先住民対策等もあって、僻地医療と医師確保の課題がある。また、1985年のHACC (Home and Community Care Program) では在宅医療中心へと大きく政策転換し、2001年からは肥満等慢性疾患患者の増大に対応すべく、プライマリ・ケア分野における看護師の役割拡大が行われている。

小山<sup>6)</sup>に依れば、SAのフリンダース医療センターの一般看護師は、下記①～③のような侵襲性が高い処置 (胸部外科・循環器内科の混合病棟の場合) を行っている。

- ①経皮的冠動脈形成術 (PCI) 後に患者の大腿動脈に挿入されたシースの抜去
- ②開胸手術後等で留置された中心静脈カテーテル、胸腔ドレーンチューブ、心外膜下ペーシングワイヤーの抜去
- ③患者の急変時、医師の不在下において看護師の判断により、手動式除細動の施行や体外式ペーシング、または心臓開胸術後に留置された心外膜下ペーシングワイヤーからのペーシングを施行。また、昇圧薬や抗不整脈薬などの特殊薬を包括指示内で看護師が投与

これらは、わが国においては2014年6月に成立した「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」の一環として提案された「特定行為に係る看護師の研修制度」に先駆けているものである。わが国の「特定行為」については、2015年10月施行に向けて具体的な検討を行っているところである。医行為の侵襲性や難易度が高いもの (B1例: 褥瘡の壊死組織のデブリードマン等)、医行為を実施するにあたり、詳細な身体所見の把握、実施すべき医行為及びその適時性の判断などが必要であり、実施者に高度な判断能力が求められる (判断の難易度が高い) もの (B2例: 脱水の判断と補正 (点滴) 等) が想定されているところである<sup>7)</sup>。

一方、わが国のプライマリ・ケア分野においては、日本看護系大学協議会が、修士課程で教育する高度実践看護師 (Advanced Practice Nurse; APNで専門看護師CNSとナースプラクティショナーNPの2種類がある) のNPの一領域として、プライマリケア教育課程 (46単位) が2014年6月総会で承認され、2015年から開始される運びとなった<sup>8)</sup>。

なお、AUには保健師免許はないが、コミュニティで働く場合、精神看護領域ではCredntial

mental health nurse（専門看護師）の資格が必要であり、A utholised mental health phractitnier の資格があれば医師の指示なしで措置入院の仮予続きができる<sup>9)</sup>。また、わが国の都道府県レベルの行政保健師に相当する州政府の看護行政担当にはコミュニティや病院看護管理経験が必要であるとのことであった。

## 2. 南オーストラリア州（SA）における看護の現状

### 1) 看護職員の就業状況

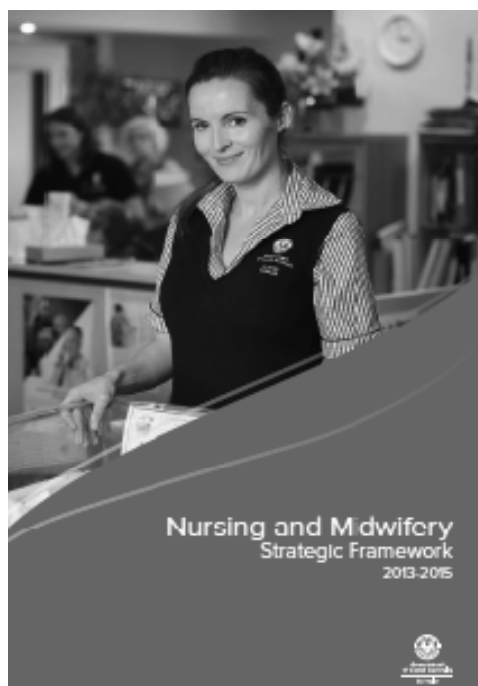
SA 州政府看護担当者の説明では、AU で 330,000 人（40,000 人看護師、2000 人助産師）の登録があり、45% は公共機関（2012 年）で就業しているとのことであった<sup>10)</sup>。SA の就業看護職員数（2014 年）は、総計 32,344 人であり、その内訳は、RN21,263 人（別掲；未就業 237 人）、EN7, 832 人（別掲；未就業 82 人）、EN&RN534 人（別掲；未就業 1 人）、看護師・助産師 2,256 人（別掲；未就業 26 人）、助産師 459 人（別掲；未就業 7 人）である。男性看護職員は AU 全体で 10.38% であり、男性助産師も 11 人いる<sup>11)</sup>。また、SA の NP は 100 人、開業助産師（薬剤処方可）は 15 人いるとのことであった<sup>10)</sup>。

なお、わが国の養護教諭は、看護師免許を有する

者と教員免許のみの者とが混在しているものの、学校教育法に基づき小学校等に配置されている。しかし、AU では養護教諭制度はない。Coromandel Valley Primary School 及び Norwood Morialta High School を視察した結果、健康管理は家庭の責任と位置づけられ、教職員が輪番で州の方針に基づくマニュアルに沿ってファーストエイドをすること、輪番制のため、3 年以上の経験者がシニアファーストエイドとしてキーパーソンとなるとのことであった。また、休憩時に生徒が運動場等で遊ぶときには、必ず教員 3 名がいることが義務付けられているので、怪我等への迅速な対応が可能と推測された。ファーストエイドの室内には、ファーストエイドの薬品・衛生材料のほかに、生徒の薬も管理しているが、州の方針でベッドは置かないことになり、病状によれば、家庭に連絡して帰宅させることもある。

### 2) 看護の質保証の取り組み

SA のすべての看護職のビジョンを明らかにし、2013 年から 2015 年までに重点的に取り組むべき 5 つの戦略の行動計画を示した“Nursing and Midwifery Strategic Framework 2013-2015”<sup>12)</sup> を推進している。ビジョンと戦略は、図 1 に示されているとおりである。



Nursing and Midwifery Strategic Framework 2013-2015



図1 Nursing and Midwifery vision and strategic priorities

**Vision : SA Health nurses and midwives practise competently, capably and professionally to meet and exceed the needs of clients in delivering high quality, compassionate care. SA Health nurses and midwives take pride in their work, and aspire to continuing self-development and knowledge acquisition through self-awareness and a nurturing and supportive culture of equality, honesty, passion and accountability.** (p.4 抜粋)

5つの戦略として、Caring with kindness、People and culture、Workforce capability and capacity、Evidence based research in clinical practice、Workforce organisationを挙げている。Caring with kindnessは、最も基本的な患者中心の看護をめざし省察的实践により質を高めること等、People and cultureは、多様な人々の生活・文化を考慮し、患者が自律的な意思決定ができるよう支援すること等、Workforce capability and capacityは、持続可能な労働力と能力を確保し、貢献できるよう最適化すること等、Evidence based research in clinical practiceは、研究の知見を応用し、看護実践を実証すること等、Workforce organisationは、時代に即した看護方法等を研究し、SAの保健医療への貢献を評価すること等である。

### 3) アデレード大学の看護教育

アデレード大学は、AUの大学としては3番目に古く(1874年)、5人のノーベル賞受賞者を輩出している総合大学である。看護学部はHealth Sciences (Dentistry & Oral Health/Health Sciences/Medicine/Nursing/Psychology)に属し、大学院Health Sciences (Addiction Studies/Counselling & Psychotherapy/Dentistry & Oral Health/Medicine & Surgery/Nursing/Psychology/Public Health)がある。

Masters by Courseworkは、Master of Clinical Nursing/ Nurse Practitioner/ Nursing Science/ Acute Care /Anaesthetics and Recovery Nursing/ Burns Nursing/ Cardiac Nursing/ Community Health & Primary Care/ Emergency Nursing/

Gerontological Nursing/ Infection Control Nursing/ Intensive Care Nursing/ Mental Health Nursing/ Oncology Nursing/ Orthopaedic Nursing/ Perioperative Nursing/ Renal Nursingがある。

Graduate Diploma (看護学士; 看護師)の教育では、Evidence-Based Practice/ Acute Care Nursing/ Anaesthetic and Recovery Nursing/ Burns Nursing/ Cardiac Nursing/ Community Health and Primary Care (選択) / Emergency Nursing/ Gerontological Nursing/ Infection Control Nursing/ Intensive Care Nursing/ Mental Health Nursing/ Oncology Nursing/ Orthopaedic Nursing/ Perioperative Nursing等を履修する。

また、Graduate Certificate (准学士; 准看護師)もあり、Graduate Certificate in Nursing Science (Apheresis Nursing/Evidence-Based Practice/ Hyperbaric Nursing/Infection Control Nursing/ Retrieval Nursing)を履修する。

カリキュラム2014 (New Program : Bachelor of Nursing)<sup>13)</sup>はNMB A (Nursing and Midwifery Board of Australia)の規定に基づく3年間のプログラムであり、ロイヤルアデレード病院、クイーンエリザベス病院、イースタンメンタル病院、リエルマックウイン・ヘルスサービスの公的機関の他、セントアンドリュース病院、カルヴァリヘルスケア、高齢者施設(ヘルピングハンド)、コミュニティ組織(AOGPジェネラルプラクティス)と連携している。

カリキュラムの主眼とする特徴は、変化するヘルスケアシステムへの対応、実践重視、体験学習、理論と実践の統合、人間中心の看護、ヘルスプロモーション・プライマリーヘルスケア、根拠に基づく実践、チームワーキングのスキル、学際的学修、情報リテラシーである。また、1995年創設来、実践を重視し、Billings & Halstead (1998)の理論をふまえ、経験学習(人間中心の看護)、省察的实践(看護の文脈)、学術的厳正(アセスメントと介入)、研究能力の開発(看護科学)を枠組みとしている。

なお、省察的实践はレベル1 Reporting & Responding、レベル2 Relating、レベル3 Reasoning、レベル4 Reconstructingからなる4Rs Modelに基づいて学修できるようにしている。

## おわりに

わが国がこれから、医療・介護の総合確保の推進体制に伴う看護の役割拡大と質を保证する教育に取り組むところ、AUは、既に実績をあげつつある。また、グローバル化の進展に伴う多言語・多文化社会における看護教育についても多くの示唆を得た。

SAにおける看護の現状については概観したところであり、まだ十分な理解に至っていない。しかし、幸いにもアデレード大学との学術交流協定が締結され、学部生の海外研修も本格化していくことが期待されるので、さらに理解を深め、本学の看護教育の発展に尽力したい。

最期に、このたびの視察にあたり、多大なるご指導・ご支援を賜りました皆様に深く感謝申し上げます。

## 文献

- 1) 瀬間あずさ：高齢者ケア評価チームを中心としたオーストラリアの高齢者ケアの概観と医療との連携の現状, 海外社会保障研究 162, 76-92, 2008.
- 2) 樋本和代・横山利枝：ドイツとオーストラリアの看護の現状と課題-わが国の看護システムの方向性を探る-, アドミニストレーション 15 (1/2) 25-41, 2008.
- 3) 大川真智子他：南オーストラリア州の看護事情を視察して, 岐阜県立看護大学紀要 4 (1), 174-175, 2004.
- 4) JNA 国際部 2010/3/11：看護教育・規制の各国動向 オーストラリア <http://www.nurse.or.jp/nursing/international/working/pdf/doko.pdf>
- 5) 渡邊幸倫：オーストラリアの高齢者施設で働く文化的言語的に多様な背景を持つ介護士・看護師についての考察 (<特集>2011 年度オーストラリア学会全国研究大会 シンポジウム オーストラリアの言語教育政策:多文化社会化する日本への提言), オーストラリア研究 (25), 12-16, 2012.
- 6) 小山幸子：オーストラリアにおける一般看護師の役割と教育体制, 週刊第 2966 号, 医学書院, 2012 年 2 月 20 日.
- 7) 厚生労働省：[www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000001thdv-att/2r](http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000001thdv-att/2r) 2012 年 9 月.
- 8) 田中美恵子：高度実践看護師の役割拡大のための修士課程教育のあり方について, 学術の動向, 66-71, 2014.

- 9) 藤田幸子：精神看護の専門性と今後の展望—オーストラリアでの精神看護の経験から, 日本精神保健看護学会誌 20 (2), 73-74, 2011.
- 10) 南オーストラリア州政府説明資料 (2014 年 9 月)
- 11) <http://www.nursingmidwiferyboard.gov.au/About/Statistics.aspx>
- 12) 南オーストラリア州政府：Nursing and Midwifery Strategic Framework 2013-2015.
- 13) アデレード大学：カリキュラム 2014 (New Program : Bachelor of Nursing)

## **A Report on Nursing Affairs in the State of South Australia**

**KAZUE NINOMIYA\*, MEGUMI NAGOSHI\***

*\*Department of Nursing Science, Faculty of Health and Welfare, Okayama Prefectural University*

**Keywords** : South Australia, Nursing, Adeleide university, curriculum